

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2023年12月28日
【発行者名】	ウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッド (Waystone Management Company (IE) Limited)
【代表者の役職氏名】	取締役 キース・ヘイズリー (Keith Hazley, Director)
【本店の所在の場所】	アイルランド、ダブリン4、ボールズブリッジ、シェルボーン・ロード35 (35 Shelbourne Road, Ballsbridge, Dublin 4, Ireland)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 大 西 信 治
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所
【事務連絡者氏名】	弁護士 大 西 信 治 同 白 川 剛 士 同 金 光 由 以 同 満 木 瑛 子
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所
【電話番号】	03（6212）8316

【届出の対象とした募集（売出）外国投資信託受益証券に係るファンドの名称】

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラストー
One-Day・プレミアム
(Brionglroid Bridge Unit Trust -
One-Day Premium Fund)

【届出の対象とした募集（売出）外国投資信託受益証券の金額】

当初申込期間：

米ドルクラス受益証券

10億アメリカ合衆国ドル（約1,450億円）

米ドルクラス（毎月分配型）受益証券

10億アメリカ合衆国ドル（約1,450億円）

円ヘッジクラス受益証券

1,000億円

円ヘッジクラス（毎月分配型）受益証券

1,000億円

継続申込期間：

米ドルクラス受益証券

10億アメリカ合衆国ドル（約1,450億円）

米ドルクラス（毎月分配型）受益証券

10億アメリカ合衆国ドル（約1,450億円）

円ヘッジクラス受益証券

1,000億円

円ヘッジクラス（毎月分配型）受益証券

1,000億円

（注）アメリカ合衆国ドル（以下「米ドル」といいます。）の円貨換算は、2023年6月30日における株式会社三菱ＵＦＪ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（１米ドル＝144.99円）によります。以下同じです。

【縦覧に供する場所】

該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2023年8月10日に提出した有価証券届出書につきまして、ファンドの投資運用会社に異動がございますのでこれに関する記載を訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

なお、本訂正届出書の記載事項のうち外貨数字の円換算については、直近の為替レートを用いることがありますので、訂正前の換算レートとは異なる場合があります。

2【訂正の内容】

（注）下線の部分は訂正部分を示します。

第二部 ファンド情報

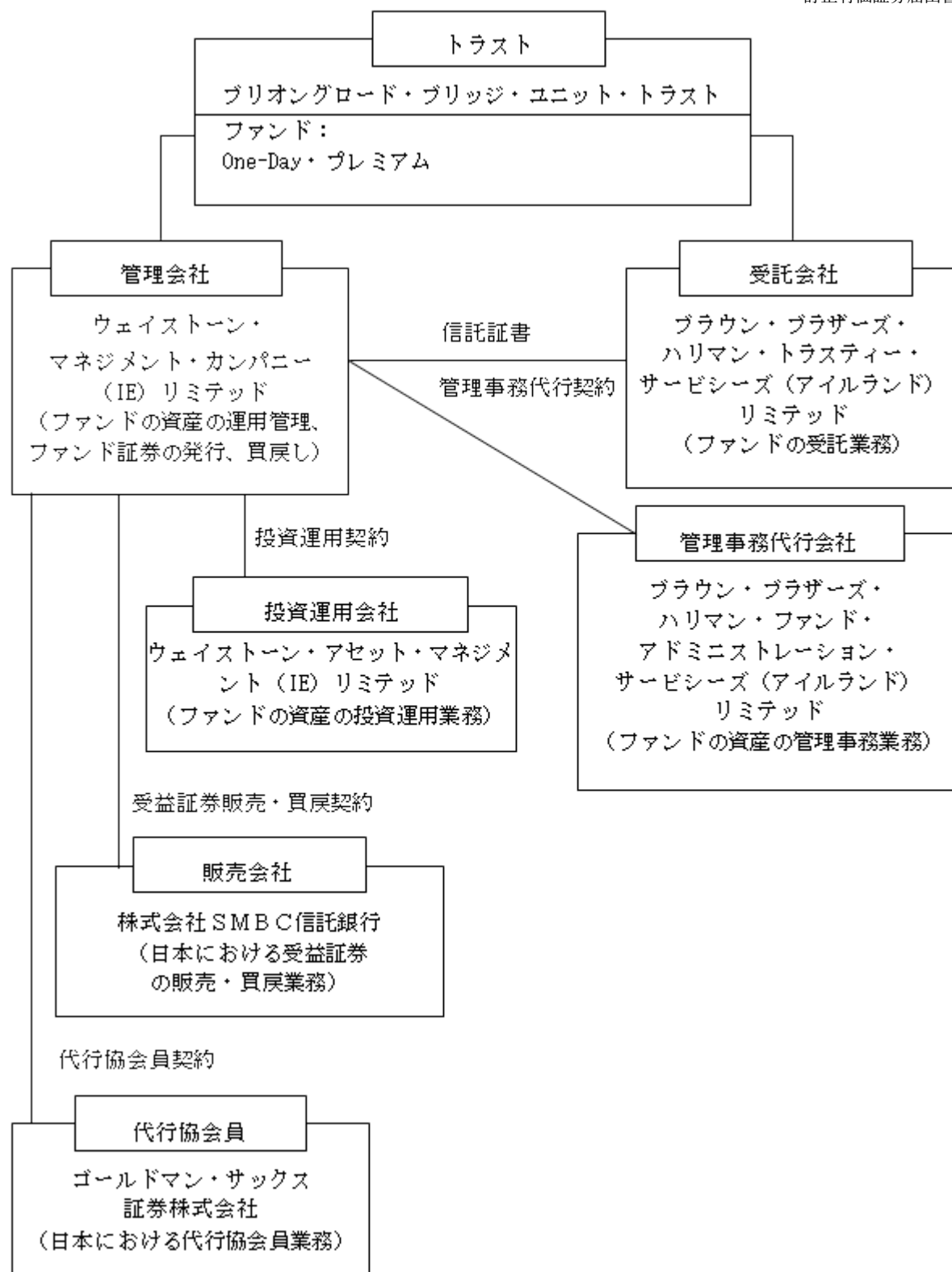
第1 ファンドの状況

1 ファンドの性格

（3）ファンドの仕組み

<訂正前>

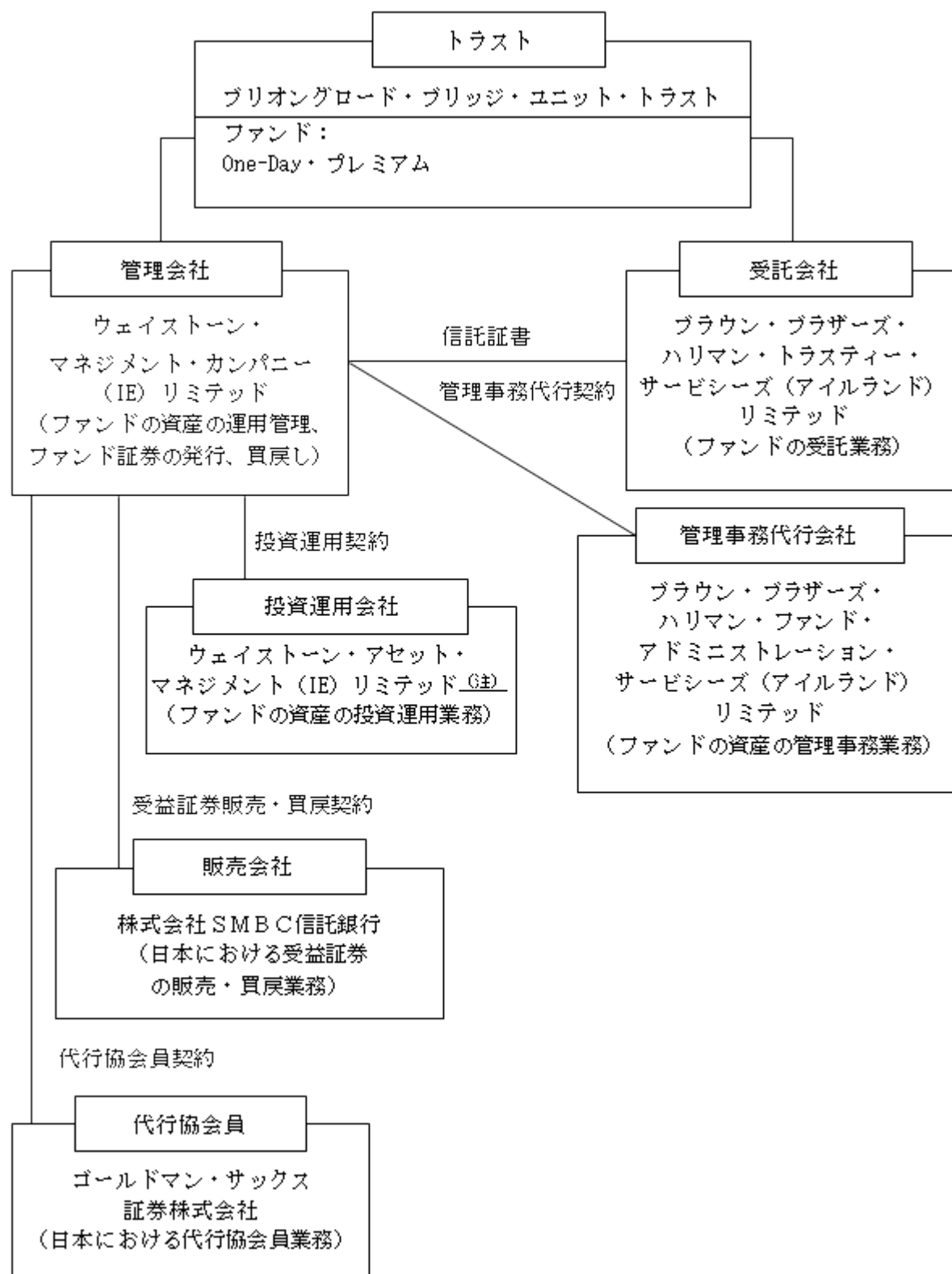
① ファンドの仕組み



② 管理会社とファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割および契約等の概要（後略）

<訂正後>

① ファンドの仕組み



（注）2023年12月31日付で、ファンドの投資運用会社であるウェイトーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッドは、ウェイトーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッドに吸収合併される予定です。当該合併により、ウェイトーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッドが合併と同日付でファンドの投資運用会社となります。以下同じです。

② 管理会社とファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割および契約等の概要
(後略)

[次へ](#)

第三部 特別情報

第1 管理会社の概況

2 事業の内容及び営業の概況

<訂正前>

ウェイストーン・ガバナンス・リミテッド（Waystone Governance Ltd）は、世界最大のファンド・ガバナンス企業であり、800名以上の専門家がすべての主要なオフショア金融センターにサービスを提供しています。ウェイストーン・グループは組織的にも成長しており、買収を通じて、グローバルに所在するオフィスから世界の投資ファンド業界にサービスを提供するファンド・ガバナンス、リスクおよびコンプライアンスの専門家からなる最大のチームを擁する業界のリーダーとなりました。

ウェイストーン・グループは、信頼性の高い包括的なファンド・ガバナンス、AIFMD、UCITS、金融商品市場指令（MiFID）、バンキングおよびカストディ、トラスト、FATCA／CRS、ストラクチャード・ファイナンス、コーポレートならびにアウトソーシング・ソリューションを提供しており、これらは様々な構造、管轄区域および多様な投資戦略について、投資会社を支援しています。

2017年1月1日、DMSガバナンス・ヨーロッパ（リミテッド）（DMS Governance Europe (Ltd)）（現ウェイストーン・ガバナンス・リミテッド（Waystone Governance Ltd））はランベイ・キャピタル・リミテッド（Lambay Capital Limited。その後、DMSマーケット・アクセス・リミテッドに、直近ではウェイストーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッドに社名変更しました。）の買収を完了しました。

より広義には、ヨーロッパのウェイストーンもまた、アイルランド中央銀行によりオルタナティブ投資ファンド運用者（AIFM）およびUCITSマネジメント・カンパニーとして行動するよう規制されているアイルランドの事業体である管理会社で構成されています。管理会社は、AIFMDに基づきルクセンブルグに支店を設立しました。

ウェイストーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッドは現在、16名以上の投資専門家を擁しており、グループ・レベルでさらなるサポート役職にアクセスすることができます。これらの従業員は、フロント・オフィス、ミドル・オフィスおよびバック・オフィスから、人事、財務、IT、法務およびコンプライアンスなど、さまざまな機能を担っています。

2023年6月末日現在で、管理会社が管理および運用するファンドは以下のとおりです。

（後略）

<訂正後>

ウェイストーン・ガバナンス・リミテッド（Waystone Governance Ltd）は、世界最大のファンド・ガバナンス企業であり、800名以上の専門家がすべての主要なオフショア金融センターにサービスを提供しています。ウェイストーン・グループは組織的にも成長しており、買収を通じて、グローバルに所在するオフィスから世界の投資ファンド業界にサービスを提供するファンド・ガバナンス、リスクおよびコンプライアンスの専門家からなる最大のチームを擁する業界のリーダーとなりました。

ウェイストーン・グループは、信頼性の高い包括的なファンド・ガバナンス、AIFMD、UCITS、金融商品市場指令（MiFID）、バンキングおよびカストディ、トラスト、FATCA／CRS、ストラクチャード・ファイナンス、コーポレートならびにアウトソーシング・ソリューションを提供しており、これらは様々な構造、管轄区域および多様な投資戦略について、投資会社を支援しています。

2017年1月1日、DMSガバナンス・ヨーロッパ（リミテッド）（DMS Governance Europe (Ltd)）（現ウェイストーン・ガバナンス・リミテッド（Waystone Governance Ltd））はランベイ・キャピタル・リミテッド（Lambay Capital Limited。その後、DMSマーケット・アクセス・リミテッドに、直近ではウェイストーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッドに社名変更しました。）の買収を完了しました。

より広義には、ヨーロッパのウェイストーンもまた、アイルランド中央銀行によりオルタナティブ投資ファンド運用者（AIFM）およびUCITSマネジメント・カンパニーとして行動するよう規制されているアイルランドの事業体である管理会社で構成されています。管理会社は、AIFMDに基づきルクセンブルグに支店を設立しました。

ウェイストーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッドは現在、16名以上の投資専門家を擁しており、グループ・レベルでさらなるサポート役職にアクセスすることができます。これらの従業員は、フロント・オフィス、ミドル・オフィスおよびバック・オフィスから、人事、財務、IT、法務およびコンプライアンスなど、さまざまな機能を担っています。

2023年12月31日以降は以下の記載となります。

ウェイストーン（Waystone）は、世界最大のファンド・ガバナンス企業であり、800名以上の専門家がすべての主要なオフショア金融センターにサービスを提供しています。ウェイストーン・グループは組織的にも成長しており、買収を通じて、グローバルに所在するオフィスから世界の投資ファンド業界にサービスを提供するファンド・ガバナンス、リスクおよびコンプライアンスの専門家からなる最大のチームを擁する業界のリーダーとなりました。

ウェイストーン・グループは、信頼性の高い包括的なファンド・ガバナンス、AIFMD、UCITS、金融商品市場指令（MiFID）、バンキングおよびカストディ、トラスト、FATCA／CRS、ストラクチャード・ファイナンス、コーポレートならびにアウトソーシング・ソリューションを提供しており、これらは様々な構造、管轄区域および多様な投資戦略について、投資会社を支援しています。

ウェイストーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッド（Waystone Investment Management（IE） Limited）は、1999年に設立され、投資運用サービスの提供を専門とします。

より広義には、ヨーロッパのウェイストーンもまた、アイルランド中央銀行によりオルタナティブ投資ファンド運用者（AIFM）およびUCITSマネジメント・カンパニーとして行動するよう規制されているアイルランドの事業体である管理会社で構成されています。管理会社は、AIFMDに基づきルクセンブルグに支店を設立しました。

ウェイストーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッドは現在、20名以上の投資専門家を擁しており、グループ・レベルでさらなるサポート役職にアクセスすることができます。これらの従業員は、フロント・オフィス、ミドル・オフィスおよびバック・オフィスから、人事、財務、IT、法務およびコンプライアンスなど、さまざまな機能を担っています。

2023年6月末日現在で、管理会社が管理および運用するファンドは以下のとおりです。

（後略）

第２ その他の関係法人の概況

１ 名称、資本金の額及び事業の内容

<訂正前>

(前略)

(２) 「投資運用会社」

名称	ウェイストーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッド (Waystone Asset Management (IE) Limited)
資本金の額	2023年6月末日現在、503,118ユーロ（約7,929万円）
事業の内容	投資運用会社はアイルランドに住所を有し、アイルランド中央銀行から、2017年欧州連合（金融商品市場）規則に基づく投資会社としての許可を受けています。

(３) 「管理事務代行会社」

(後略)

<訂正後>

(前略)

(２) 「投資運用会社」

名称	ウェイストーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッド (Waystone Asset Management (IE) Limited)
資本金の額	2023年6月末日現在、503,118ユーロ（約7,929万円）
事業の内容	投資運用会社はアイルランドに住所を有し、アイルランド中央銀行から、2017年欧州連合（金融商品市場）規則に基づく投資会社としての許可を受けています。

(注) 2023年12月31日付で、ファンドの投資運用会社であるウェイストーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッドは、ウェイストーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッドに吸収合併される予定です。当該合併により、ウェイストーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッドが合併と同日付でファンドの投資運用会社となります。ウェイストーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッドの資本金および事業の内容は以下のとおりです。

名称	ウェイストーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッド (Waystone Investment Management (IE) Limited)
資本金の額	2023年11月末日現在、8,334ユーロ（約135万円） (注) ユーロの円貨換算は、便宜上、2023年11月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1ユーロ＝161.51円）によります。
事業の内容	投資運用会社は、アイルランドの法律に基づき設立された非公開会社です。投資運用会社は、アイルランド中央銀行から、2007年ヨーロッパ共同体（金融商品市場）規則第11条1項に基づく資産運用の認可を受けており、かつ投資会社として規制を受けるか、または第6条2項に基づき認可されているとみなされています。同社の主要な事業の内容は資産運用業務です。

(３) 「管理事務代行会社」

(後略)

２ 関係業務の概要

<訂正前>

(前略)

(２) 「投資運用会社」

ファンドの資産の投資運用業務を行います。

（後略）

<訂正後>

（前略）

（２）「投資運用会社」

前述の合併完了後、ウェイトストーン・アセット・マネジメント（IE）リミテッドに代わり、ウェイトストーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッドが投資運用契約の当事者となり、ファンドの資産の投資運用業務に関する投資運用会社として行為します。

ファンドの資産の投資運用業務を行います。

（後略）